

解剖学講座

Anatomy

教授	大谷 修	Osamu Ohtani
助教	大谷 裕子	Yuko Ohtani
助教	鄭 蓮順	Zheng Lianshun

◆ 著 書

- 1) 坂井建雄, 大谷 修 (監訳): プロメテウス解剖学アトラス 頸部/胸部/腹部・骨盤部, 医学書院, 東京, 2008.
- 2) 大谷 修, 大谷裕子 (翻訳): プロメテウス解剖学アトラス 頸部/胸部/腹部・骨盤部, 坂井建雄, 大谷 修 監訳, 70-113 医学書院, 東京, 2008.

◆ 原 著

- 1) Ichise H., Ichise T., Ohtani O., and Yoshida N.: Phospholipase C γ 2 is necessary for separation of blood and lymphatic vasculature in mice. *Development*, 136: 191-195 (2009) doi 10.1242/dev.025353.
- 2) Hori E., Hayashi N., Hamada H., Masuoka T., Kuwayama N., Hirashima Y., Origasa H., Ohtani O., and Endo S.: A development of atheromatous plaque is restricted by characteristic arterial wall structure at the carotid bifurcation. *Surg. Neurol.*, 69: 586-591, 2008.

◆ 総説

- 1) Ohtani O., and Ohtani Y.: Organization and developmental aspects of lymphatic vessels. *Arch. Histol. Cytol.*, 71:1-22, 2008
- 2) Ohtani O., and Ohtani Y.: Structure and function of rat lymph nodes. *Arch. Histol. Cytol.*, 71: 69-76, 2008.
- 3) Ohtani O., and Ohtani Y.: Lymph circulation in the liver. *Anat. Rec.*, 291: 643-652, 2008.
- 4) 大谷 修, 大谷裕子: リンパ管, リンパ節形態学の最近の進歩. *脈管学*, 48: 107-112, 2008.
- 5) 大谷 修, 大谷裕子: パイエル板, 虫垂, 扁桃の構造. *メディカルバイオ*, 5: 35-39, 2008.
- 6) 大谷 修, 大谷裕子: 横隔膜におけるリンパ管の分布, 微細構造, 発生, および働き. *リンパ学*, 30: 44-48, 2007 (2007年業績集に未掲載)

◆ 学会報告

- 1) 大谷 修, 大谷裕子: リンパ組織における細網の基本構造. シンポジウム「遊走細胞の交差点 - リンパ器官の細網の構造と機能」(オーガナイザー兼座長: 大谷 修, 牛木辰男), 第 113 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2008, 3, 27-29, 大分.
- 2) 藤森智成, 飯田 敬, 阪口誠二, 天野公輔, 井口貴雄, 餌取 諭, 小坂隼人, 平野勝久, 名内正弘, 大谷裕子, 大谷 修: 着色ゼラチン注入による肺区域の立体的理解. 第 113 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2008, 3, 27-29, 大分.
- 3) 大谷 修, 大谷裕子: ヒト, サル, ラットにおける横隔膜のリンパ管. 第 32 回日本リンパ学会総会 (会頭: 日比紀文), 2008, 6, 6-7, 東京.
- 4) 島 綾乃, 大谷裕子, 大谷 修: 腹腔動脈系と下腸間膜動脈系の吻合の 1 例. 第 12 回臨床解剖研究会, 2008, 7, 12, 東京.
- 5) 大谷 修, 大谷裕子: 人体解剖学実習は学生が医学を修得するために不可欠である, シンポジウム「我が国の人体解剖学教育を検証する」第 40 回日本医学教育学会大会 医学教育の課題と展望~40 年の潮流を踏まえて~2008, 7, 25-26, 東京. (招待講演)
- 6) 阪口誠二, 飯田 敬, 大谷裕子, 大谷 修: 人体解剖学実習は自分の力で観察し, 考え, 学ぶ最良の機会である. 第 40 回日本医学教育学会大会 医学教育の課題と展望~40 年の潮流を踏まえて~2008, 7, 25-26, 東京.